

◆南スーダンPKO派遣部隊の駆けつけ警護は撤回を!

日本共産党船橋議員団

ミニにゅうす

| | | |
|---|--|----------------------------------|
| 日本共産党国会議員団千葉事務所 県会議員 丸山 慎一 ☎043-302-2005 ☎047-424-6347 | 市会議員 岩井 友子 ☎438-8647 事務所 ☎429-2160 | 関根 和子 ☎447-0557 事務所 ☎440-7950 |
| <市議団控室 ☎436-3030 FAX420-7201> | 中沢 学 ☎493-8140 | 松崎 さち ☎090-6156-8592 |
| 市会議員 金沢 和子 ☎422-5278 | 渡辺 ゆう子 ☎462-7273 | |
| 坂井 洋介 ☎404-2039 | | |
| 佐藤 重雄 ☎432-9872 | | |

市長！職務を放棄して「パリに行ってくる」とは?!

11月28日の議会運営委員会に、松戸市長が出張するので、それを前提に「日程調整をする」ということが、突然持ち出されました。

なほだしいことです。こんな場合、議長は制止するか、正確な対応を求めるべきです。

いまは船橋市議会第四回定例会の真っ最中で、市長不在を前提に「総務」「健康福祉」「市民環境経済」の常任委員会が予定されているので、議案提案者の市長が「居なくてもいいだろう」などというのは前代未問の話で、「議会議案提案者の市長が「居なくていいだろう」などというのは前代未問の話で、「議会無視」もは



11月29日に議長申し入れ

「居なくていいだろう」などというのは前代未問の話で、「議会無視」もは、この場合、議長は制止するか、正確な対応を求めるべきです。ところが、11月25日に開かれた「会派代表者会議」で、正式の議題にもせず、「市長がパリに行く」ということで、日程は12月6日から10日まで、フランスの賞の受賞式に出席するためという「話」があっただけ、というのが事実です。

それも、「議題に入る前」で、正式の報告でもないという「不思議な扱い」で議長も認めていた、という「馴れ合い」ぶりです。

もはや、これでは「二元代表」など、まったく無視ではありませんか。議会を無視されて、なんとも感じ

ない議員なんて、何の役割を果たさうというのでしょうか。日本共産党市議団は神田議長に抗議の申し入れをおこない（写真）「議会開催中における市長の海外出張に対する議会対応の誤り是正」を強く求めました。

それにもまして、自分が議会に提出している議案の審議中に「パリに行ってくるから、よろしく…」という市長の資質が問われます。

もしかすると、松戸市長は来年春の市長選挙には「出馬しない」のでしょうか？ それなら理解できます。みなさんは、どう感じられますか。

日本共産党船橋市議団主催

無料 法律相談

1月19日(木)
2月9日(木)

弁護士が相談を受けます
労働相談も受けています

会場：中央公民館
時間：午後1時～4時
要予約 ☎436-3030

十二月市議会

一般会計補正予算について質問しました

●放課後ルームの整備費について

今年4月1日付で327名もの待機児童が出ています。これを減らすとして、6ルーム(若松・海神・葛飾・小栗原・中野木・塚田)の整備費が提案されましたが、残り13ルーム(94人)の待機児童を解消される見通しは示されませんでした。

特に2桁台の待機児童が出ている3ルーム(坪井・三山・二和)について早急な対策を求めたところ、市は「学区の見直しや子ども教室を開設したので、その状況を見ていきたい」と答えま

した。

子ども教室と放課後ルームの設置目的は大きく異なります。放課後ルームに入所できない児童を子ども教室で「受け入れをすれば良い」では済まされません。

児童数の増加等を見越した放課後ルーム整備計画を策定することを、強く要望しました。

●就学援助費について

準要保護児童生徒の中学校入學準備援助費の支給を「小学6年生の卒業式の頃に変更する」との提案がありました。日本共産党市議団が、再々求めてきた

改善に一步近づきました。しかし、入学式までに、制服や体操着、カバン、靴などを買ひ揃える準備期間としては短すぎます。さらなる改善を求めました。

学校教育部長から、「今回はむずかしい。これ以降はよい方法を考えていく」と答えました。また、小学校の入学準備援助費の支給も入学式前にするよう質したところ、「重要な課題であり、研究し、解決していきたい」と答弁しました。入学前の支給と入学準備に足りる増額を引き続き求めていきます。

●校舎のトイレ改修について

今回、国の補助金がついたので、小学校10校(塚田・高根・三山・高根台・飯山満・習志野台・八木が谷北・二和・七林・法典

西)、中学校6校(法田・習志野台・古和釜・高根・三田・行田)、特別支援学校1校(金堀校舎)の「17校・32系統」が改修されるこの提案がありました。

この提案に入らない未改修トイレルは、「73校・138系統」です。児童・生徒が「学校のトイレはできるだけ使用したくない」とガマンをしている状況は、早急に改善しなければならぬ問題です。改修計画を早めるための予算付けを求めました。

市は、当初「10年計画で改修を進める」としてきましたが、今議会では「3年程度で天井落下防止策の工事が終わる。その時点で計画を見直せるかどうか検討したい」と一歩前進した答弁を引き出すことができました。今後ともトイレ改修を進めるためがんばります。